

議会だより

議会運営委員会



- 森 孝太郎
- 古谷 文夫
- 瀨崎 幸徳
- 川原 貴光
- ◎中原ゆづ子
- 平埜 靖
- 久保 哲也

議会広報編集特別委員会



- 永田 博信
- 森 孝太郎
- 農尾 浩一
- ◎瀨崎 幸徳
- 内田 裕三
- 古谷 文夫

新体制

総務文教常任委員会



- 中原ゆづ子
- 川原 貴光
- 大塚 俊久
- 農尾 浩一
- ◎森 孝太郎
- 永田 博信
- 浜辺なみえ

産業厚生常任委員会



- 古谷 文夫
- 新井 政博
- 瀨崎 幸徳
- ◎久保 哲也
- 内田 裕三
- 平埜 靖



◎は委員長 ○は副委員長

新たなスタート

各委員会 新体制決定



山口一三 議長

議会運営委員会

多数の議員で構成される議会を円滑にし、効率的に運営するために、会議規則や委員会に関する条例などを審査し、議会の会期・日程などを決定します。

また、議会運営の責任者である議長の諮問に関する事項を協議します。(7名)

公平で前進的な議会運営を心がけ、議員間の建設的な議論を促すことで、町民の付託に応える決意です。



中原委員長



円滑な議会運営に尽力します

総務文教常任委員会

議会において、総務、教育、文化、スポーツなどの分野に関する議案や請願などを専門的に審査・調査するための常任委員会です。(7名)

生活に密接に関わる分野を担当するため、地域社会の発展に尽力します。



森委員長

産業厚生常任委員会

議会において、産業振興や更生に関する議案や請願などを専門的に審査・調査するための常任委員会です。具体的には、農業、商業、工業、労働、福祉、医療、健康などの分野です。(6名)

地場産業の発展と町民の生活の安定・向上を両立させるために尽力します。



久保委員長

議会広報編集特別委員会



各委員「議会の見える化」に向け頑張っています

議会に関する情報を広く町民に知らせ、町民の議会に対する関心を高めるための特別委員会です。(6名)

町民が必要とする情報を分かりやすく紹介し、町議会に関心のない人たちが手取りたくなるような紙面作りを心がけていきます。



濱崎委員長

予算総額

146億6,821万9千円

令和7年度 補正予算

会計名		補正額	予算総額
一般会計		▲ 251万円	146億6,821万9千円
事業会計	下水道	資本的収入	▲ 2,235万円
		資本的支出	▲ 1,390万円
			4億 402万9千円
			6億 4,056万1千円

令和7年 第2回定例会

令和7年第2回定例会は、6月3日から13日まで開催された。一般質問には12人の議員が登壇、町政全般にわたる議論と時津町の課題など、多くの質疑を交わした。条例の一部を改正する条例2件、令和7年度一般会計補正予算など13議案が上程され、審議の結果、全ての議案を原案の通り可決した。



国の緊急浚渫推進事業債制度が令和7年度から令和11年度まで5年間延長の為、長八川、日並川及び入船川の土砂浚渫に係る工事費を計上した。

令和7年度補正予算の
主な事業・負担金 (補正額)
緊急浚渫推進事業

(976万1千円)

B&G海洋センター救助艇
購入費助成負担金

(310万円)

B&G海洋センターに救助艇を1艇追加整備するため、救助艇購入助成負担金を計上した。



救助艇 (同型)

令和7年 第2回臨時会

令和7年第2回臨時会は、5月9日(金)に開催された。

この臨時会は、地方税法等の一部を改正する法律が成立したことによる、令和6年度内に行った専決処分等と、令和7年度時津町一般会計補正予算など3議案が審議され承認・可決された。

さらにこの臨時会で、任期2年による議会運営委員会、2つの常任委員会、議会広報編集特別委員会の改選が行われ、新体制が決定した。(各委員会の新体制詳細は、表紙・2Pに掲載)

総務文教常任委員会 意見交換会 〔時津町スポーツ協会〕

令和7年6月24日(火) に時津町スポーツ協会と総務文教常任委員会にて意見交換会を行いました。そこで述べられたご意見の一部を紹介します。

○屋内スポーツ活動拠点が無いため、新設の町民体育館が有用だと思う。

○担い手の役員等の確保・育成に苦労しているが、何か良い方法はないか。

○B&G海洋センター2階トレーニングルームは、夏場の環境は安心・安全ではないため、早急に空調機の設置が望まれる。

○町営テニスコートの設立を望む。



スポーツ協会との意見交換会



長田スポーツ協会会長

参加者がそれぞれの置かれている立場で感じている事、要望等、経験を含めた上で、議員の方々と意見交換をしていたので、とても有意義なものとなりました。
また、機会があれば、宜しくお願いします。

タブレット研修

令和7年6月に議会ICT化に向けたタブレット端末の導入に向け議員研修会を開催した。



(タブレット端末導入目的)

- ① ICTシステム(端末・アプリケーション)を導入し、その利便性を生かして「議会機能の強化」を推進する。
- ② 資料の電子データ化により執行機関側などの情報共有をより円滑に推進するとともに、資料を蓄積する。
- ③ 町民への迅速・適格な情報提供を行っていく。議会機能を強化し、時津町議会基本条例の目的を達成する。



議会運営委員会 意見交換会

令和7年6月に長与町議会運営委員会と意見交換会を開催しました。

今回は、議員定数について課題を探るとともに、今後の議会の在り方などの意見を交わしました。



議会改革推進委員会 議員間討議

令和7年6月に時津町議会議員全員による議員間討議を行いました。議員同士が議題について自由な意見交換を行い、議論を深めました。



一般質問

・質問の内容は
事前通告制です

新井 政博 議員

6

①自治会の運営について ②小学校の水泳の授業について



森 孝太郎 議員

7

①カナリーホールについて ②町内の若者の参画に向けた取り組みについて



鳥居 浩一 議員

8

①ウォーターフロント公園のローラースケート及びスケートボード場について
②クルーズ船の乗客誘致について ③婚姻届の提出について



濱崎 幸徳 議員

9

①本町におけるリチウムイオン電池及びパソコン処理について
②本町管理の公共施設への熱中症予防対策について



古谷 文夫 議員

10

①水道管の取替及び漏水について ②空家等対策の推進について
③学力向上に向けたさらなる取り組みについて



川原 貴光 議員

11

①ウォーターフロント公園、海と緑の運動公園のトイレ整備について



中原 ゆう子 議員

12

①5歳児健診について ②姉妹都市提携について ③町民の健康について



大塚 俊久 議員

13

①台風や大雨への防災・減災について ②地域コミュニティについて
③西時津小島田線における交通安全や交通渋滞への対策について



浜辺 なみえ 議員

14

①低所得者世帯へのエアコン購入・設置の助成と学校体育館へのエアコン設置について
②介護保険制度について
③障がい者（児）支援について



永田 博信 議員

15

①子ども110番の家について ②ごみステーションについて
③ドッグランの設置について



内田 裕三 議員

16

①イノシシ被害への対策について ②耕作放棄地について



平埜 靖 議員

17

①左底川支流平原川について ②4月14日時津町に降ったひょう被害について



*各議員の一般質問は、録画放送を右のQRコードよりご覧いただけます

自治会への有益な支援を図れ

自治会活動の負担軽減につながる
施策を実施していく
山上 町長



新井 政博 議員

自治会は、もともと1937年頃から日本各地で組織され始め、1940年に国により整備された事になっ

ている。
本来、行政の仕事を肩代わりして行っている自治会・公民館の活動は、現在、様々な問題に差し迫っているのが現状である。
*会費の使途が分からない。
*役員になるのに抵抗がある。
*会費の負担が重荷になっている。
*会に入ってもメリットが無いなどの意見があり、改めて次の点について伺う。



自治会加入促進チラシ

Q 住民や、役場に対し、自治会の存在するメリットは。

A 防災活動や防犯活動などについては、広く住民の皆さんにメリットがあり、特に高齢者世帯については、避難支援や地域福祉活動。

子育て世帯には、登下校の見守り活動や子供会活動など大きなメリットがある。

役場は、自治会を通して各地域の情報を収集することができ、地域の課題解決や住民サービスの向上につなげることができるメリットがある。

Q 自治会長以外の役職兼務を、町として見直すことはできないか。

A 自治会活性化部会において、自治会が直面する様々な問題について、より具体的な対策を講じるため、自治会長と協議を続けて行く。

Q 会員減により、自治会運営が厳しくなっている。
町からの支援は考えられないか。

A 本町では、自治公民館増改築の補助、集会所の新築・増改築の補助、自治会保険料の補助、ペーロン船の建造改修の補助など行っている。

令和7年度には、公民館の整備に對する補助要件の緩和や、放送機

器、机及び椅子などの備品購入に対し、新たに支援するなど、自治会や自治公民館と連携した協同のまちづくりを推進するため、支援の拡充を図っている。

学校プールからB&Gへの
活用転換を急げ

B&G海洋センタープールの利
用も想定しながら対応を考える

相川 教育長

Q 学校プールでの実践は長く続けられているが、水泳の実技は必修科目なのか。

A 「学習指導要領」において、水泳場であるプールの確保が困難な場合を除き、必修科目となっている。

小学生は、各学年、年間8時間の水泳のカリキュラムが必修とされており、体育の授業の中で消化する。

Q 時津町にはB&Gプールがあるが、学校授業への活用を図れないか。

A 時津北小学校では、B&G海洋センタープールまでの距離が近く、徒歩で移動が容易な4年生から6年生までの児童は、令和4年度以降、全ての水泳の事業をB&G海洋センタープールで実施している。



B&G海洋センタープール

一方、他の小学校は、現地までの距離があり、移動時間確保が困難であるため、現在のところ、授業に活用が可能なのは、時津北小学校だけではないかと考えている。

Q 教員配置も行き詰まると思われるが、どのように捉えているか。

A 「監視員及び救護員の配置は施設の規模、曜日や時間帯によって変わる利用者数等に依りて適切に決定することが必要である」と示されており、1学級の水泳の授業において、少なくともプール全体を見渡せる陸上に1人以上と水中に2人以上の少なくとも3人以上の職員を配置し、安全監視に努めている。

これからも職員配置を工夫しながら水泳の授業を実施していく。

今後のカナリーホール運営の考えは

誰もがワクワクする施設運営を目指す
 山上 町長

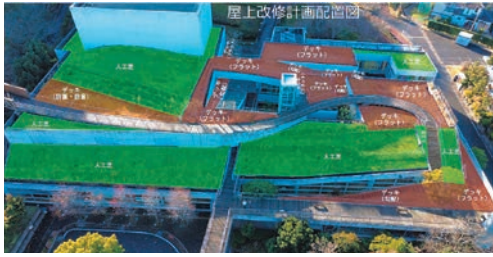


森 孝太郎 議員

Q カナリーホールが造られた目的、今日まで果たしてきた役割は。

A カナリーホールは、住民に文化活動の場を提供し、芸術文化の振興を図ることを目的に、平成14年5月に開館した。主な役割として、まず、時津町の文化拠点となり、町主催のイベントや体験型イベントを通じて、住民が気軽に訪れ参加できる場を提供している。

次に、音楽コンサートや芝居上演などを開催して、優れた芸術・芸能に出会う機会を提供している。また、ホールや練習室の貸出も行



ワクワクするカナリーホールに

い、町民が自らの表現活動を行える環境を整えている。さらに、広大な文化の森公園と一体となった文化施設であり、公園利用者にも開放され、多くの方が来館されている。

Q 時津町民主権の利用はあるか。

A シニアクラブ連合会によるコーラス演奏会、つくしんぼコーラスによる演奏会、各種実行委員会による様々な講演会などの利用がある。

Q 運営上の課題はあるか。

A チケットの販売率が伸びないといった課題があるが、ネット購入などの環境づくりに努めており、今後はSNS活用などを研究していく。

Q 大規模改修の内容は。

A 建築工事では、屋上防水工事や、一部外壁の補修を行う。

電気設備工事では、高圧受変電設備や非常用発電機の更新をはじめ、照明器具のLED化などを行う。

機械設備工事では、空調設備の更新やトイレの温水洗浄便座化などを行い、災害時に備えた指定避難所としての機能強化を図る。

付帯工事では、庭園部分を身体障がい者用の駐車場に改修し、マル

シエなどのイベントを開催できるスペースに整備する。

Q 改修後の運営方針変更の考えはないか。

A 管理運営は、時津町教育振興公社を指定管理者と指定しており、その期間は令和11年3月31日までとなっていることで、それまでの期間は運営方針を変更する予定はない。しかしながら誰もがワクワクするような施設運営は、行政だけではなく、民間会社の豊かで自由な発想が不可欠とされており、行政と民間会社が連携することで、それぞれの強みを最大限に生かした運営を実現できないか、検討を進めていく。

地域活動への参画を促す
 担い手の育成の考えは

今後も積極的に取り組んでいく
 相川 教育長

Q 地域活動への参画を促す担い手の育成は重要と思うが、町の見解は。

A 若者にボランティアとして多く参加してもらう為、魅力ある講座の企画・運営に努め、そのような講座を通じて、自分たちの趣向を共にする仲間と具体的な社会貢献活動が生



楽しい会議

まれることを期待して、結成されたグループにはできるだけだけの支援をしていく。

Q 「若者会議」の一般募集をSNSなど使い募集する考えはないか。

A 長崎市の「ながさき若者会議」は、若者が集い、新しい仲間を作りながら自分たちが暮らす未来を面白くするためのアクションを起こしていく会議体で、令和2年からスタートし、ここからたくさんの方々が楽しい活動が生まれている。

今後SNSなどによる募集方法も含めて課題を洗い出し、情報収集を行いながら、若者会議の在り方について研究していく。

ローラースケート及びスケートボード場の亀裂修理はできないか

長崎港湾漁港事務所と協議する

山上 町長



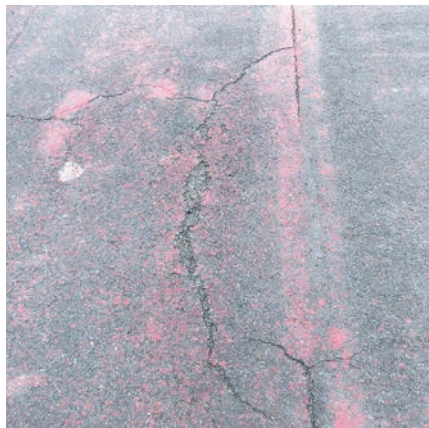
鳥居 浩一 議員

修理はできないか。

Q ウォーターフロント公園のローラースケート及びスケートボード場に亀裂している場所が数カ所あるが、

A 亀裂の進行、舗装の一部に若干のくぼみ等も見受けられることから、先月、本町から長崎港湾漁港事務所に対する情報提供を行った。

ウォーターフロント公園は、町中心部にあつて、イベント等も含めて



亀裂、くぼみのある箇所

多くの利用者が利用する公園であることから、早い段階で補修ができるように、今後、長崎港湾漁港事務所との協議を実施していきたいと考えている。

Q 少し傾斜を付けることはできないか。

A この広場はローラースケートやスケートボードだけでなく、自転車やボール遊び、イベントの開催など小さなお子様から高齢者まで幅広い世代の方々が、多目的に利用できる場所となっており、現状のとおりフラットな方が、多くの皆様にご利用いただけるものと考えている。

クルーズ船の乗客を本町に呼び込む仕掛けはないか

受け皿となる施設がない

山上 町長

Q 2024年にクルーズ船で日本に訪れた外国人客は143万8千人であり、寄港回数の上位10港の中で、長崎港は3位157回であった。

令和7年度4月に「戦略推進課」も新しく立ち上がり、クルーズ船の乗客を本町に呼び込むしかけができないか、町の見解を伺う。

A 「とぎつカナリーホールの大規模改修工事」については、単なる施設改修にとどまらず、鯖くさらかし岩までの散策路を新たに整備して、合格祈岩だけでなく、縁結びの名所として売り出すなど、今すでに持っている時津の素晴らしい資産を再評価して磨き上げ、たくさんの人たちで賑わう新たな観光スポットを創りだしたいと考えている。

現在のところ、クルーズ船の外国人観光客を呼び込む受け皿となる施設は、本町には無いが、インバウンド集客をはじめ、幅広く、さまざまな戦略に果敢にチャレンジし、誰もがワクワクする、日本一元気である町を目指して、全力で取り組んで行きたいと考えている。

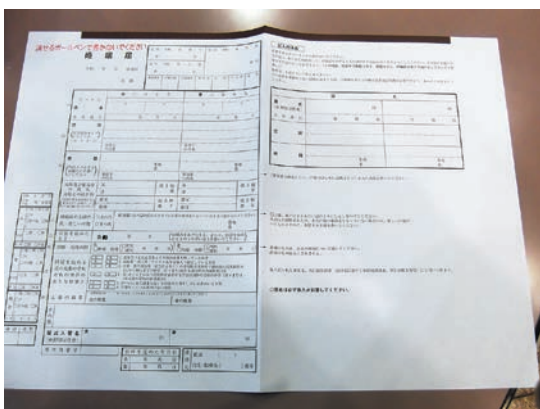
婚姻届けの提出時に記念品の贈呈は

他自治体の実施状況や事業効果を研究する

山上 町長

Q 令和7年4月より「こんにちは赤ちゃん」事業を開始し、出生記念証と絵本1冊を贈呈し、予算も付けた。

婚姻届けを提出した後、出産も考えられ、人口増加も期待ができる。令和4年度、5年度、6年度の婚



婚姻届けの用紙

婚姻の提出件数は。

A 令和4年度は2677件
令和5年度は280件
令和6年度は309件

Q 記念品の贈呈はできないか。

A 各自治体の魅力を高め、住民満足度の向上を図るなどの目的で、婚姻届の提出時に婚姻届記念証や記念品を贈呈する取り組みが、全国的にも増えてきている。

人口減少対策として、現在取り組んでおり、若い世代への結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない各種施策との連携をはじめ、他自治体の実施状況や事業効果など、今後、研究していく。

リチウムイオン電池の処理状況は

直接持参すると無料で回収する

山上 町長

濱崎 幸徳議員



ン電池は、最近の家電にほとんどいつてよいほど付いている。

また、パソコンの処分についても情報漏れなどの事例もあり、各自治体では処理の仕方が問題になっており、そこで本町の処分のやり方を伺う。

Q リチウムイオン電池の処分は、どのように、指導しているか。

A 近年、リチウムイオン電池使用の家電製品などが増加し、廃棄物と



パソコンの無料回収チラシ

して処理され、その過程で外部からの強い衝撃により発火し、火災事故などが発生する事例が、全国的に発生している。

リチウムイオン電池を使用した小型家電や電池を排出する場合は、まずは、購入された販売店に相談、販売店での対応が難しい場合には、役場設置の「小型家電回収ボックス」に排出するか、住民環境課窓口、クリーンパーク長与、時津クリーンセンターに直接持参すると、無料で回収する。

処分等の周知については、町広報紙、ホームページや公式LINE、自治会加入全世帯配布のチラシ、公施設へのポスターの掲示など、様々な媒体を活用し、分かりやすい情報提供に努めている。

回収方法の認知度を上げるため、リチウムイオン電池が使用される家電製品をピックアップするなどし、一歩進んだ広報、周知に積極的に取り組む。

Q パソコンを無料で回収する協定を知らない町民が多いように思うが、どのような広報を行っているか。

A これまで町ホームページなどを活用し、「リネットジャパンリサイクル株式会社」との協定やパソコン

の無料回収について、周知しているが、更なる周知徹底を図るため、ホームページ掲載記事をリニューアルし、新たに公式LINEでの情報発信を行った。

その他、「リネットジャパンリサイクル」と協議を行い、本町のイメージキャラクター「とっきー」を掲載したチラシを、無料で作成していただき、自治会加入全世帯配布を行った。

Q 町民に周知するために、協定を結んでいるリネットジャパンに、新聞広告を交渉してはどうか。

A 長崎新聞に掲載されている、無料回収の記事は、協定を締結している「自治体名」を含む記事を、年4回程度掲載しているとのこと、本町が協定を締結していることをPRした掲載ができないか、現在、「リネットジャパンリサイクル」と協議を行っているところである。

本町の熱中症予防対策とは

クーリングシェルターを開放して行く

山上 町長



クーリングシェルター

Q 去年の夏は、猛暑どころか酷暑であった。

本町の公共施設は、ほとんど冷房施設があり、そこを町民の熱中症予防対策のために、クーリングシェルターとして開放してはどうか。

A 熱中症特別警戒アラートの運用期間である4月の第4水曜日から10月の第4水曜日までに、熱中症特別警戒アラートの発表期間中、一般に開放される施設である。

本町では、従前から、役場を含めた各公共施設について、開館時間内ではあるが、夏の暑い時期の「避暑施設」として利用してもらおうという取り組みを進めてきた。

まずは、命を守ること、健康や体調を守ることが一番大切であり、暑さが厳しいときには、公共施設に遠慮なく来ていただき、涼をとってもらおうなど、有効に活用する取り組みを進めて行く。

水道管の現状はどうか

令和5年度は802.7m、令和6年度は286.9m取り替えている

山上 町長

古谷 文夫 議員



Q 漏水工事の年度別件数と工事金額はどうなっているか。

A 次の表のとおり。

漏水工事の年度別件数及び工事費

	件数/金額
R 3年度	178 件
	38,887,550 円
R 4年度	129 件
	31,538,738 円
R 5年度	128 件
	29,694,300 円
R 6年度	179 件
	54,703,650 円

Q 令和6年度の漏水について、本管と送水管（給水管）と個人の敷地内での件数と割合は。

A 件数は179件で、給水管が

100%、本管の漏水はない。水道メーターから建物内までの漏水の件数は把握していないが、漏水に伴う水道料金の減免件数は92件あった。

空家対策はどうしているか

「時津町空家等対策の推進に関する条例」を令和7年3月に制定した

山上 町長

Q 空家等の台帳では、状態に応じて何段階に分けているか。

A 空家については、1件ずつ現況写真を記録して実態調査を実施した結果、町内の空家等のほとんどが、管理に特段の問題がなかった。

点数の低いほうからAランク〜Dランクの4段階としている。件数は318件あったが、所有者や管理者の連絡先、固定資産税の納付の有無については、今回は調査対象とはしていない。

Q 80歳以上の高齢者で一人住まいの人は何人いるか。

A 令和2年度に実施した国勢調査によると、390人である。

Q 空家等対策協議会のメンバーや年間のスケジュールは。

A 町長が会長を務め、自治会の代表が1人、町議会議員が1人、学識経験者として、宅地建物取引士、司法書士、税理士及び長崎県長崎振興局建築課長である県建築主事の計4人を含む合計7人で構成している。今後は、年1回程度の開催を基本とするが措置が必要となった場合や変更が生じる場合などは、随時開催していく予定。

第1回目の協議会は令和7年5月19日に開催した。

受験費用を初回分だけ全額負担できないか

長期的な視点で検討していく

相川 教育長

Q 昨年は、夏休み講座やイングリッシュデイキャンプなど、大きな努力をされたと感じている。

A 物価高の今、家庭の負担も多いので英検3級の受験費用を初回分だけ町が全額負担できないか。

A これらのイベントや講座は、「きっかけ作り」ではあるが、もっと



夏休みの英語学習講座

長期的な視点で取り組む必要がある。そのためには、教員の指導力向上と授業改善が重要である。

指導力向上に向けては、英語指導に実績のある先進地の視察研修を実施し、「学び直し」の機会を提供することに取り組んでいる。

また、授業改善については、実際に英語で自分の気持ちや考えを練り返し伝え合い、生徒たちが、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを感じることができるよう授業づくりを引き続き取り組んでいく。

これらの対策と並行して、議員提案の件も含め、その効果を先進自治体の事例も研究しながら長期的な視点で検討していきたい。



海と緑の運動公園のトイレ



川原 貴光 議員

が重視され、プライバシーが守られるとともに、清潔に保つことが美德とされ、公共のトイレでも高い水準のおもてなしの精神が根付いている。

トイレはただの衛生施設だけでなく、社会を反映し、文化であるとの考えが広まっている。日本では個室

ふたつの公園のトイレは
建て替える時期ではないか

早急に建て替える必要性は低い

山上 町長

Q ふたつの公園のトイレ設置はいつか。

A ウォーターフロント公園には平成16年度に、海と緑の運動公園には平成3年度に設置されている。

Q 相当数の人たちが利用していると思うが、利用者から「今の時代にそぐわない」とか「使いにくい」などの声は出ていないか。

A ウォーターフロント公園のトイレについても、とぎつ海と緑の運動公園のトイレについても住民や利用者から直接そのような声は聴いていない。

また、グラウンドの利用日誌などを確認してもそんな声や要望はあがっていない。

尚、ウォーターフロント公園のトイレは、県から管理委託を受けて都市整備課が維持管理を行っている。

Q 利用者数に見合った便器の数、洋式トイレへの設置を行う時期かと思うが、それぞれのトイレを建て替える考えがあるか。

A 2カ所の公園のトイレとも、建物自体に劣化等の問題がないので、早急に建て替える必要性は低いと考える。



ウォーターフロント公園のトイレ

便器の数については、運動公園はスポーツ大会の主催団体にトイレ使用の支障などについて聞くこととし、ウォーターフロント公園は、さほど込み合っている状況ではない。洋式トイレへの設置については、自宅も含めて多くの店舗等でも洋式であるので、多くの利用者が使いやすい洋式トイレに改修を進めていく必要性は高いと考えている。ただし、ウォーターフロント公園については長崎県の所有であるため、今後は、長崎振興局長崎港湾漁港事務所と協議を進めていきたいと考えている。

【ふたつの公園にあるトイレの状況】

設置場所 種類	ウォーターフロント公園				海と緑の運動公園			
	大村湾漁協側		子供広場側		B & G 側		日本ビソー側	
	男子用	女子用	男子用	女子用	男子用	女子用	男子用	女子用
洋式便器	1基	1基		1基	1基	1基	1基	1基
和式便器		1基	1基	1基	1基	3基	1基	2基
小便器	2基		2基		5基		3基	
多目的洋式便器	1基		1基		1基			

5歳児健診の対応は

本町では「巡回方式の5歳児健診」を行っている

山上 町長



中原 ゆう子 議員

政府は、今年度になり、「5歳児健診」の普及に向け、自治体への支援強化にやっと乗り出した。

本町はどのように取り組むのか伺う。

Q 政府は3年後の2028年度までに全国で100%を目指すとしているが、本町ではどのようにするか。

A 本町においては、すでに「巡回方式の5歳児健診」を令和5年度から実施しており、「集団健診」の限られた場面や個別の診察で把握する



5歳児健診の支援強化を

ことが困難な場合が多かったことを踏まえ、「巡回相談」という形で、平成21年度から本町独自で実施している。

集団健診ではないため、国の補助金を受けることはできないが、必要な支援に繋ぐことができるため、国が「5歳児健診」に求めている成果が、十分に達成していると判断する。

Q 発達障害の可能性がある場合は、特性に応じた支援を受けることができるようにするとあるが、その仕組みづくりや勉強会はできているか。

A 未就学児は、保健相談などを実施、障害児通所支援の利用に繋げる。小学生以上の就学児童は、必要に応じ、医療機関の受診や、特別支援学級への措置変更についての提案など、児童の特性に応じた療育支援の仕組みを構築している。

教育委員会では、特別支援「コーディネーター」の先生を対象に研修会を実施している。

オーストラリアとの姉妹都市提携を取り組んでみてはどうか

交流都市はないが機運が高まれば検討する

山上 町長

Q 日本政府として各自治体の姉妹都市提携には力を入れている。本町でも取り組んではどうか。

A オーストラリアの姉妹都市提携については、現在本町では交流がある都市はないが、今後、インターネットを活用した国際交流などでの姉妹都市提携の必要性や、地域の振興や活性化、さらには技術・経済交流などの機運が高まった場合には姉妹都市提携を検討していく。

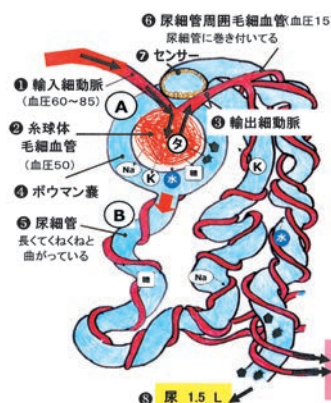
町民の腎臓への関心度を高めるようにするには

腎臓に特化した広報を実施して行く

山上 町長

Q 腎臓は一度悪くなると、ほとんど回復しないそうなので、腎臓にも関心を持つべきだと思う。広報とぎつの福祉部通信の中で特集し、町民の腎臓への関心度を高めるようにするにはどうすべきではないか。

A 慢性腎臓病とは、「腎臓の障害」若しくは「腎機能低下」が3カ月以上持続している状態のことで、日本腎臓学会によると、日本には、慢性腎臓病の患者が約2千万人、成人の5人に1人いると推計されている。



腎臓病に注意を

慢性腎臓病は、初期には自覚症状がないため、病気に気づかないまま放置してしまい、病状が出る頃には、かなり進んでいる。

治療を受けずに放置すると、腎不全へと進行し、人工透析や腎移植が必要となる場合もあり、慢性腎臓病の悪化で脳卒中や心筋梗塞などの心血管疾患を発症するリスクが高くなる事がわかってきたようである。

本町としても、これまでも様々な疾患の早期発見のための各種健診や、生活習慣病の発症予防など、その周知を図ってきたが、「腎臓」に特化した広報についてはぜひ実施していきたいと考えている。

なお、広報する内容が複数多岐に渡ることが想定されるので、町民の皆様に関心をもってもらえるよう、特集記事、あるいは複数回に分けての掲載など、内容等については、早急に研究を進めて行きたいと考えている。

避難所の環境は

良好な生活環境の確保に
取り組んでいる

山上 町長

大塚 俊久 議員



はされているか。

Q 避難所の環境確保は充分保たれているか。

また、高齢者、障がい者、持病を持っている方への十分な配慮



総合福祉センター

A 「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」に基づき、避難所における「トイレの確保・管理」「生活空間の確保」「食事の質の確保」「生活用水の確保」等

良好な生活環境が確保されるように平時から取り組んでいく。
配慮が必要な方、支援が必要な方に関しては、左底郷の総合福祉センターで避難の受け入れをしている。

Q 時津中央第2土地区画整理事業は完成間近であるが、この地域での災害対策は十分か、また、周辺地域への影響はないか。

A 都市基盤整備や市街地環境の改善を図ることで、住環境の悪化を防止し、公共の福祉の増進に寄与することを目的に平成22年から移転補償に着手し、令和11年度の事業完成に向けて、道路、宅地の造成工事を一体的に整備を進めている。

区画整理事業の進捗に伴い整備が進んだことで、区域内における防災・減災機能は大幅に向上しているものと考えている。

自治会離れに對しての
行政支援は

自治会長の皆様と協議を続ける

山上 町長

Q 各自治会、自治公民館は各地域で運営するとなっているが、役員のなり手不足、住民の自治会離れなど

今後、行政支援などを含め、町としてどのように考えているか。

A 本町では自治会活性化を図るべく、各地区の自治会長で構成する時津町自治会連合会と共同で自治会活性化部会を設置し、自治会加入の魅力について協議を行い、加入率の向上に努めている。

取り組みの1つとして、毎年6月及び11月を自治会加入促進月間とし、未加入世帯へ配布する加入案内のチラシの内容をともに検討し、自治会で未加入世帯への訪問などを行い、自治会活動のPRや加入案内に努めている。

また、自治会加入強化月間には、役場庁舎に自治会加入を呼びかける懸垂幕を掲示し、さらに自治会加入を呼びかける横断幕も掲示している。

交通安全や交通渋滞の対策は

幅員拡張のための街路事業に
着手している

山上 町長

Q 浜田地区の久留米運送跡地に大型商業施設の進出が予定され、まもなく工事が始まるが、西時津小島田線において、イオン時津店周辺は道路幅が狭い上、現在でも交通量が多く、早期の交通安全への対策が必要



交通量の多い交差点

この町道は通学路としても利用されているため、町としてどのような対策を考えているか。

A 小島田公民館から国道207号交差点までの200メートルの区間については、小中学生の通学路となっており、片側しか歩道がない状態であり、交通量が増加することに伴い歩行者への安全対策や国道207号の長与方面への右折帯がないために車両滞留による渋滞を懸念している。
西時津小島田線（札ノ元工区）では歩行者の安全対策及び道路交通の円滑化を図ることを目的として、現在の幅員9メートルから12メートルの道路に広げるための新たな街路事業を昨年度すでに着手しており、令和11年度末完成を目指している。

学校体育館にエアコン設置を

現時点では考えていない

山上 町長

浜辺 なみえ議員

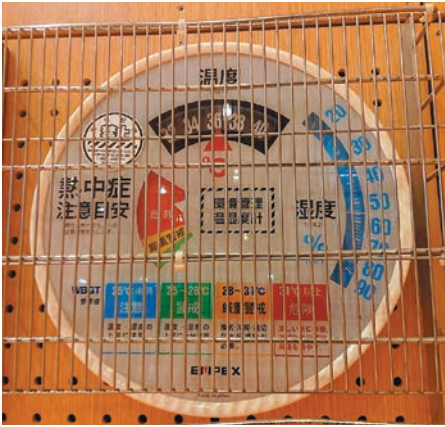


とがあるか。

Q 昨年の本町の夏の小中学校の行事や体育の授業で、体育館が危険な暑さと判断され、使用されなかったことが

A 学校体育館使用の判断は、文科省が作成している「熱中症予防運動指針」に沿って学校長が行っている。体育館が使用できなかった回数は、各学校は把握できていない。

Q 子どもの命と健康第一に、また



時津中体育館 36℃で「危険」(6月20日)

学校体育館が災害時の大切な避難場所であることも考慮して、エアコン設置に踏み出す考えはないか。

A 避難所としての環境改善としては、コスモス会館の改修事業、とぎつカナリーホールや時津公民館の改修事業などを優先すべきと思うので、現時点では学校体育館へのエアコン設置は考えていない。

Q 多くの自治体では、生活保護世帯とあわせて、住民税非課税世帯や児童扶養手当受給世帯など、低所得世帯全体を対象にエアコン設置を本町独自の公的支援にする考えはないか。

A 熱中症による健康被害を予防し安全に生活するためにはエアコンの適切な利用も必要だと思う。国や近隣市町の動向を見極め、先進地の補助制度やその効果を分析し、本町独自の公的助成の必要性や手法などを研究していきたい。

介護給付費への国庫負担の増額を求める

以前から求め続けている

山上 町長

Q 自公政権は2024年4月から訪問介護の基本報酬を2〜3%引き下げた。

事業所は報酬の引き下げで収入が減り、それを補うために訪問回数を増やすなど業務の過密を招き、ヘルパーが連続して退職し、人員不足や赤字で休止に追い込まれる事態が生まれている。

長崎県で介護事業所がないのが小値賀町で、1つしかないのが東彼杵町と波佐見町となっている。

長崎県町村会などと連携して、国に対して国庫負担割合を増やすよう求める考えはないか。

A 本町は、以前から長崎県町村会を通じて、国と県に対し継続的に要望を行っている。

昨年は、①高齢者を介護する介護労働者の確保のため、過重労働の軽減、更なる賃金の向上等の処遇改善を図ること、②保険給付費に対する国庫負担割合の引き上げなど費用負担の抜本的な見直しを図ることの2点を要望した。

障がい児通所支援事業内容の周知徹底を

改善すべき点は改善したい

山上 町長

Q 昨年11月、時津町障がい児通所支援の9事業所の方々と意見交換を行う場に参加させていただいた。

その時に、「障がい児通所支援事業について知らない人が多い。町として、その内容について町民にもっと周知徹底してほしい」という要望が出されたが、どう応えるか。

A そのような要望が事業所から寄せられたのであれば、周知方法など改善の余地があると考えている。

現在、母子手帳交付時に障がい児通所サービス内容などを掲載した子育て支援ガイドブックや時津町障がい者等地域自立支援協議会が作成したリーフレットを渡している。

他自治体の事例も参考にしながら、改善すべき点も含めて積極的な周知活動に取り組んでいきたい。

※事情により写真等は削除しました

ドッグラン設置の可能性はあるか

新たな公園活用方法の中で検討する

山上 町長

永田 博信議員



町内で犬との散歩を楽しむ姿を多く見かける。その飼い主の多くの方々が希望しているのが「ドッグラン」の設置である。そこで伺う。

Q 「ドッグラン」設置について検討の余地はあるか。

A 人と動物が安心して暮らせる共生社会の構築は必要なことであり、「ドッグラン」の設置もその一つと認識しており、検討する余地はある。が設置については、検討課題も多い。



ドッグラン

○どれ程の町民が希望しているか
○設置場所の選定

○施設の管理、運営体制

○設置や維持管理に係る費用

以上の課題を整理したうえで、公園の新たな活用方法に関する整備計画の中で、協議を進める。

Q 「ウォーターフロント公園」は検討対象となるか。

A 対象とはならないが、利用頻度の低い公園の中で、先の課題を整理した上で検討を進める。

「子ども110番の家」は路地などにも配置すべきでは

不用心なところに設置の提案をする

相川 教育長

「子ども110番の家」の組織は、児童・生徒の特に下校時の安全に関して、保護者にとって心強い存在であるが、中には旗が古く本当に機能しているのか、不安に思える。そこで伺う。

Q 「子ども110番の家」はどのような活動をしているか。

A 助けを求め駆け込んできた児童・生徒を一時保護し、その状況や

概要を警察へ通報する活動を行う。

Q 「子ども110番の家」の設置場所はどのように決められているか。

A 青少年健全育成町民会議は「子ども110番の家」設置要領を定め、設置選定基準を設けている。

○過去の犯罪状況を踏まえた所

○犯罪等が予想される所

○学校や地域関係者が要望する所

○登下校路に面している所
(該当する商店、事業所、民家等)

Q 「子ども110番の家」は通学路を中心に設置されているが、むしろ通学路から入った路地など死角となる場所にも配置すべきでは。

A 町全域において、死角となりうる不用心な場所について、確認の上、町民会議に設置の提案をする。

ごみステーションは適切に利用されているか

日頃の維持管理に感謝申し上げます

山上 町長

Q 家庭ごみの収集は重要な住民サービスの1つと考えるが、出ず側にマナーなどの問題はないか。



ごみステーション

A 住民の方のおかげで、清潔に維持管理できているが、分別されていないゴミや不法投棄などの事例がある。

このような場合には住民環境課職員が収集業者と連携し対応している。

粗大ごみの収集については、町外からの持ち込みや、事業系ゴミの持ち込みが発生している。

夜間警備員を配置し監視体制を強化している。

Q 私有地に設置されているごみステーションは何箇所か、またその方々への対応は。

A 個人宅地内の設置は6箇所あり、場所を提供していただいていること、清潔に維持管理していただいていることに対し、年に1回「ゴミ袋」を提供している。

イノシシ被害への対策は

猟友会との連携体制を強化する

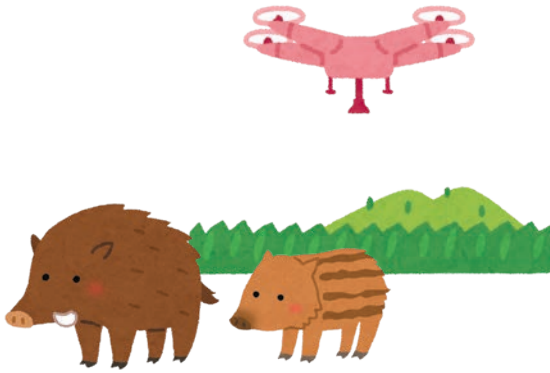
山上 町長



内田 裕三 議員

Q 昨年度は、町として被害対策をどのように行ってきたか、また農作物の被害や石垣の崩落などに効果はあったか。

A 「防護対策」としてワイヤーメッシュ柵の材料支給を行った。



ドローンとイノシシ

また、令和6年度の農作物の被害状況は調査中で不明であるが、令和3年度の被害額97万9千円から令和5年度は被害額38万2千円へと減少した。

Q 町長が令和7年度、施政方針で示した猟友会との連携・体制整備はどのように進めていくか。

A 令和7年度より専任で「農林政策支援員」を配置し、猟友会との連携体制の強化を図る。

また、捕獲実績報告業務の効率化や罠の設置場所のマップ化などによる被害防止対策のために、スマートフォンでの捕獲アプリを令和7年度中に導入できるように準備している。

Q イノシシの移動ルートや行動パターン、寝床の特定などの情報収集には、ドローンが最も有効であると思うが、町として活用する考えはないか。

A ドローンを効果的に活用することが可能であるか、不明な点も多いため、今のところ、ドローンを活用する考えはない。

耕作放棄地の対策は

農地の有効活用を推進していく

坂本 農業委員会会長

Q 耕作放棄地による被害等の現状をどこまで把握しているか。

A 主に農業者から被害の報告や相談などにより把握している。被害としては、草木が隣地や歩道に越境し、作業や通行の妨げになっている。

また、害虫による農作物被害の報告や相談などは、あつてないが今後、耕作放棄地が害虫の発生源となり、周辺農地へ影響を与えることは十分考えられるので、害虫被害の連絡があつた場合は対応していく。

Q 耕作放棄地に対しての、今後の町の取り組みと対策は。

A 農業委員会では、毎年9月から10月にかけて、農地利用状況調査を実施して農業委員・農地利用最適化推進委員が町内全農地を回り、耕作の状態などを確認している。また、「遊休農地」については、



耕作放棄地

その所有者に対し農地利用意向調査を行い、農地を売りたい、貸したいという意向がある場合は、農地の売買や貸借の斡旋を行う。

さらには、50戸連さんの制度を活用し耕作放棄地を宅地化するための農地転用の相談も増えている。



左底川主流「平原川」改修を急げ

必要な改修工事は計画的に
実行する

山上 町長

平埜 靖議員



平原川は鳴鼓岳を源とする河川。平原橋から上流約425mは、未整備区間で危険な状況が続いている。

昭和57年の長崎大水害で、平原川は越流し、甚大な被害をもたらした。現在も当該区間は、未整備の状態にあり、極めて危険な状況であることから、住民の安全確保の観点においても、早急な整備が強く求められる。

Q 平原川未整備区間の危険性認識及び今後の対策について伺う。



平原川のごろ石

A 令和3年度と令和4年度に石の撤去工事を行った区間においては、上流部からの新たな石が流れ込んできており、今後も堆積が進むことで河川の流れを阻害し、下流側に立地する住宅にも被害を及ぼす可能性が考えられる。

河川の流れに支障となる樹木が生育している箇所もあり、石の撤去と併せて、護岸補修や樹木伐採に関する年次計画に基づいた工事を実施する。

Q 長崎大水害の教訓を踏まえた平原川の治水対策の見直しは。

A 本町が管理する河川については、人家に与える影響を考慮した整備及び補修の緊急度を再確認、定期点検を実施し、治水対策強化を図る。

平原川は、災害復旧工事で護岸整備を行っている平原橋から下流部分及び護岸未整備部分はあるが、平原橋上流部分のどちらの間も、現在河川断面で問題はないと考える。

今後は、全面的な改修ではなく、河川断面を阻害するような石の撤去や樹木の伐採、崩壊しかけている護岸の補修などを計画的に実施することによって、平原川の治水対策が図れるものと考えている。

「びわ」農家に対する「ひょう」被害の支援を求める

必要な補助等の支援について
対応する

山上 町長

Q 4月14日、一時的に一面が真っ白になるほどの「ひょう」が降り、びわ農家においては「ほぼ全滅」との報告があった。

今後の農業経営や出荷に莫大な影響を及ぼすことが懸念される中、町として今回の被害状況をどのように把握し、被害農家への支援や、県・関係機関との連携による対応を進めて行くのか。

A 本町では、「ひょう」の発生直後から、長崎西彼農業組合時津支店や農業者と、町内の状況確認について連携を取り合い、翌日には「びわ」の被害面積率が70%で、被害額が300万円程度になるとの情報を得ていた。

今回、「ひょう」被害に係る県の対策について確認を行い、県としては被害が限定的であり、今のところ対策の予定はないとのことであった。

しかし、本町においては「びわ」「みかん」に並ぶ特産物である「びわ」は町内の主要な農産物であり、ふる



時津に降った「ひょう」

さと納税の返礼品としても提供してもらっている。

自然現象による災害とはいえ、今年度の収入減少に加え、次年度以降の安定した収穫への不安など、「びわ」生産農家の皆様の大変な状況については、重く受け止めている。

町としても、令和5年度の「みかん」被害への対応状況をベースに、今回の「びわ」被害への支援に必要な対応を考えており、補助等の支援については、対応していく予定である。

今後も、生産農家の皆様が本町の特産物への生産意欲を持ち続け、長崎西彼農業協同組合の「時津支店」や、「このうみびわ部会」とも協議を行いながら、必要な補助等の支援について、対応していく予定である。

クラブ活動紹介

時津中学校軟式野球部

僕たち時津中学校軟式野球部は、現在部員が5人と少なくて、鳴北中学校と合同で、日々の練習に励んでいます。

僕たちのチームは、全員が日頃の挨拶や学校内外での振る舞いをしっかりととして、どんな人にも応援されるチームを目指しています。

そして、プレーの中で僕たちが大切にしていることは、誰かがミスしても、チームのみんなでカバーをし合っていて、ミスしても自信を無くすことなく、自分の思うよう

顧問：松江 康祐

おおた いっせい
太田 一成

主将：山田 太陽

部員数

2年生 3名

1年生 2名

なプレーができるようにすることを大切にしています。

また、学校が違ってもコミュニケーションには問題はなく、僕たちのチームはとてもなじみやすく、すぐに打ち解けることができるので、少しでも野球に興味のある人は、初心者の人でも大歓迎なので、いつでも練習を見に来てください。

これからもチーム全員で頑張るので、応援よろしくお願ひします。

時津中学校は、西彼杵郡中学校総合体育大会にて、
◎バドミントン男子・女子
◎バスケットボール男子
◎ソフトテニス女子
◎バレーボール男子
が優勝しました！



時津中学校の生徒です。

私たちは、鳴北・時津中学校野球部は、約2年前から2校の合同チームとして活動しています。

現在、2校合わせた部員数は3年生7人、2年生7人、1年生6人の計20人となり、日々の練習に全力で取り組んでいます。

チームの目標は「九州中総体出場」です。この目標は、昨年の先輩たちの思いも背負い、覚悟を決めて設定し、今までの練習や試合を頑張ってきました。

時には苦しく、チームとして悩む時期もありました。それでも、目標は変えず、どんな困難もみんなで支え合い、乗り越えてきました。

顧問：村山 秀
 コーチ：林田 裕
 主将：林田 薫

部員数

3年生	7名
2年生	4名
1年生	4名

また、技術面だけでなく、あいさつや礼儀、そして、たくさんの方々への感謝の気持ちをプレーで伝えることを大切にしてきました。

7月末に行われる県中総体を約1カ月後に控え、限られた練習時間をさらに全力で取り組もうと心を一つにしています。

そして、大会本番では、県中総体で戦うことができること、多くの方々に応援していただいているということへの感謝の気持ちを忘れず、悔いが残らないように戦い抜いて勝利を掴みます。

応援よろしくお願いします。

鳴北中学校は、西彼杵郡中学校総合体育大会にて、

- ◎サッカー
- ◎ソフトテニス男子
- ◎ハンドボール男子
- ◎剣道男子

が優勝しました！



白のユニフォームが

歴史シリーズ

「浦郷ペーロン」

「浦郷ペーロン大会の歴史とは」

今年も6月8日(日曜日)に浦郷ペーロン大会が盛大に開催されました。

さて、浦郷ペーロンはいつ頃に始まったのでしょうか？

1655年、唐人たちが始めたペーロンは、白熱した競漕のために喧嘩がたえず、1800年禁止令が出されました。

その頃には周辺の浦々に伝わり、発展していったと記録にあります。

時津には享保時代に伝えられたと言われているとされています。

明治、大正、

昭和期には漁業関係者を中心に行われ、有力者の援助で新船を造ったり、上海までドラを買って行った話が伝わっています。



昭和初期の写真には、町を上げて祝う節句の祭りとしての様子が残っており、初節句の子供は今の法被ではなく、宮参りの晴着で参加しておりました。

第二次大戦で中断しましたが、昭和21年に再開され、昭和23年の長崎新聞には、恒例の浦郷ペーロン大会として掲載されています。その後は青年団を中心に引き継がれてきました。



ペーロンは各地のイベントとして盛んに行われております。

しかし、長い*

チャーセンの和船で行い、初節句の男児の成長を神社で祈願し、船上で披露、さらに競漕が終わると、各家を安全祈願で回る「打ち込み」など古い形式を伝えるペーロンは、浦郷の他には僅かしか残っていません。

このような歴史と伝統を持つ浦郷ペーロン大会が、今後も末永く継続することを願っています。

(浦郷ペーロン25周年記念誌より引用)

*チャーセンとは、舳先(へさき)の事です。



6月議会の傍聴者は、延べ30人でした。次の定例会は、令和7年9月2日(火)からの予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

議会開催中は、9月2日より「時津町議会本会議」を同時放送します。

<https://togitsu-town.stream.jfit.co.jp>

時津町議会映像配信

検索

